

# 令和2年度えるぴす(放課後等デイサービス) 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			その日の利用者様の人数や動きによりスペースが制限されることもあるが、その都度テーブルやマットの配置を考慮している	
	②	職員の配置数は適切であるか	5				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		玄関の出入口の段差にスロープを設置している。ずれた時には定位置へ戻し、点検している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			ミーティングを行っている。また、法人内ではプロジェクトチームがあり、委員会が設けられ、各々が所属するグループで行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			1	4	・第三者機関の評価は行われていないが、外部委員会として、法人の副理事長に依頼し、チェックしていただいている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・入社時には新入職員研修を実施している。今年度からは入社後の職員にスキルアップ研修も実施。感染症予防や虐待防止の研修、心肺蘇生法等の研修は原則として全員参加。 ・外部講師を招き、呼吸の講座を受ける。(12月実施)
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				一人一人が、ケース担当を受け持ち、部署全体で関わるようにしている。様々な角度からしっかりとアセスメントされ職員や利用者さんの声も聞きしっかりと計画作成されている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				定期的にカンファレンスが行い、実行されているか確認している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				季節を意識できる活動を取り入れている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				活動の工夫(支援時間での調整、季節のイベント)長期休暇は、学校で行っているふれあいリラックス体操等、からだの時間を設けている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				当日利用する児童に合わせて活動内容を考え 実行している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				毎日必ず、その日の流れを打ち合わせしタイムキーパーを設けて、時間調整をしながら、支援をしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		1		勤務形態により、難しい日もあるが、意見や気付きがある場合は申し送りノートで共有したり、次の日の支援前ミーティングや別でカンファレンスの時間を設けて改善に向けて話し合っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			正しく記録を取ることを前提としつつ、利用者様と過ごす時間を大切にするため、記録方法の検証をしたり、申し送りノートを活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			・送迎時の学校からの申し送りがあり、また、必要時は直接電話やメールで詳細を聞き取るようにしている。 ・放課後連を通して質問をさせていただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		2	・まだ卒業生がいないが、必要が生じれば移行先へ支援内容等を情報提供をする準備はしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	感染のリスク等が高いため実施していない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡ノートや、ご家族とのメールやお迎え時などに、情報共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		1	作業療法士または看護師等の知識がある職員が情報の提供を心掛けているが、ペアレント・トレーニングの知識を学んでいく必要はあると考えている。
保護者	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			

戸への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			事例が多くはないのだが、必要時には対応している。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			
非常時の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			情報共有し、原因への対応、苦情発生防止のための対策を行っている。保護者様からの連絡で気付いた件は記録に残して、振り返りを部署内で行っている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			子供や保護者からの視点でも考え、職員同士で情報共有をしっかりとし、保護者さん達にその都度連絡、伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		3	
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
非常時の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・今年度は10月には防災訓練を実施。1月には災害伝言ダイヤル171の練習を、保護者様も一緒に行った。 ・月に1回、緊急時の対応等訓練に関する課題を話し合ったり、実践する時間を設けている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			今年度は12月に法人内での研修と、放課後連の研修を受講している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			部署内ではミーティング等で共有し、5月と11月を評価月としている。他部署のヒヤリハットは法人の朝礼で共有している。